

5月の産地情報

輪菊	白菊	愛知、静岡、沖縄等が中心の入荷となる。 品種の切り替えにより上旬は秋系品種が中心だが、中下旬より精の一世が主体となる。 切り替えに伴い不安定な入荷が予想される。
	黄・赤菊	静岡、沖縄、愛知中心の入荷。沖縄産は出荷量が減少し、静岡、愛知産は品種の切り替えの為少ない入荷が予想される。 品種は精の光彩が主力となる。
小菊		沖縄中心。出荷量は徐々に減少し、下旬より静岡県産等がで始まる。全般に色バランスの崩れが見込まれる。
SP・ディスプレイバッド		愛知、静岡、栃木中心の入荷。出荷量は昨年並みで上旬より若干増加してくる。下旬より早い産地は夏系品種が出始める。 ディスプレイバッドは愛知、静岡中心の入荷。上旬は入荷量多めになりそう。
バラ		冬季出荷休みだった山形県産の出荷も出そろい、潤沢な入荷の見込み。
カーネーション		千葉、静岡中心の入荷。気温の上昇と共に入荷量は順調に増えるが、品種によって多い・少ないの差は出てくる可能性あり。 輸入品は昨年よりやや多い入荷となる見込み。母の日明けからSPカーネの入荷は減少する。STは微減となる。
ガーベラ		各産地本格的な改植に入る為、入荷量は減少となる。
かすみ草		愛知、和歌山、熊本中心の出荷。 昨年は4月中旬に2番花の出荷が増え始めたが、今年は遅れ気味で4月末からの出荷始まりとなってきたそう。 5月前半は上位等級において潤沢な入荷となる見込み。 母の日用の下位等級の予約は各産地取っておらず、上位等級と比較すると不安定となる。
リシアンサス		中旬以降出荷まとまる産地が多く、関東、高知中心の入荷。沖縄県産は例年より出荷期間長くなる見込み。
ユリ	オリエンタル	高知、千葉、埼玉中心の入荷で、新潟県のハウス物が中旬以降に増加する。数量は例年よりやや少な目の見込み。 生育状況は現時点ではやや遅れ気味の産地が多く、今後の天候次第で大きく変わってくる。
	スカシ・鉄砲	埼玉、鹿児島中心の入荷。数量は例年並みでやや少な目の入荷となる。
洋ラン類		洋ランの数量に関してオンシジュームは輸入はしばらく横ばい。国産は徐々に増える。 デンファレは輸入は徐々に減少傾向。国産も増えてくるのに時間が掛かる。カトレア、ファレノは季咲が徐々に増える。
季節もの		グラジオラスは鹿児島、沖縄産中心の入荷。5月下旬から終盤となり入荷量は減少する。 花菖蒲は生産量減・疫病の影響もあり出荷数は大幅減。弊社としては強く出荷要請している。 花リョーブやドーダンツツジ・ナツハゼ等はやや遅れての生育。母の日用アイテムとしては間に合いそう。